茶生産の風景

和束町の緑の丘陵には、きれいに手入れされた茶の木が果てしなく並んでおり、町の広大な茶栽培産業の証である美しい景観を作り出しています。町の伝統的な茶園の特徴がいたるところに見受けられます：茶の木は丘や山腹の自然な輪郭に沿って並び、畑のあちこちに点在する背の高いポールの上に取り付けられた扇風機が、空気を循環させて霜による被害を防ぎ、長く黒い寒冷紗が葉を太陽から守る天蓋の役割を果たしています。農家の人たちが季節ごとに畑で働き、茶葉を摘み、剪定し、世話をするので、風景は活気に満ちています。

2020 年現在、和束町では約 412 ヘクタール（1,018 エーカー）の土地が茶の栽培に利用されており、年間約 1,100 トンの荒茶が生産されています。町全体に広がる多くの茶畑のうち、4 つのエリアは特にその風景で知られており、それぞれが訪問者にユニークな視覚体験を提供しています。

石寺茶畑

最も知られている栽培地域は和束町南西部の石寺で、青々とした茶畑に覆われた丘が空に向かって伸びるような素晴らしい景色を楽しめます。京都府が地域固有の文化と歴史を代表する景観を活用し保護するために景観資産が制定されたとき、石寺は最初に指定されました。

3 月下旬、石寺茶畑の周囲に並ぶ桜並木が、淡いピンク色の層で景色を明るくします。このエリアが緑一色の状態で見られるベストシーズンは春、最初の収穫の準備で農家が寒冷紗で茶の木を覆う前の季節です。夏には、さまざまな種類のお茶が異なった時期に収穫されるため、一部のお茶の木は寒冷紗で覆われ、一部は刈り取られ、一部は摘み取りを待つ葉で繁るなど、畑がパッチワークのようになります。秋には畑の間の小道の木や低木が暖かな色に少し染まり、冬には粉雪が積もって畑は丸くふわふわした雪の整った列に変わります。

茶畑を見ながらおいしい食事やお茶をテーマにしたスイーツを楽しみたい訪問者は、展望台のそばにある「dan dan cafe」で食事できます。

アクセス: 「和束高橋」バス停から徒歩 10～15 分。車と自転車の駐車場があります。

白栖・撰原の茶畑

白栖茶畑と撰原茶畑は、反対側の斜面に向かい合って位置し、向こうの山々と森の景色を囲んでいます。かなり急な斜面で栽培されているため、山の尾根のまばらな土壌を最大限活用した畑の配置になっています。茶畑の周囲には田んぼや季節の花々が咲き乱れ、ハイキングトレイルや散策コースのスポットとして人気です。

アクセス：石寺茶畑から道を進んで約 15 分、又は「白栖口」バス停から徒歩約 18 分。見学する場合は、農作業車の邪魔にならないように注意してください。

釜塚茶畑

釜塚茶畑のなだらかな丘陵は、和束を東西に走る主要道路からよく見える美しい景色の中に広がっています。釜塚は、和束町観光案内所、交番、郵便局などからもはっきりと見え、住民や観光客の両方が季節の移り変わりや農作業の年間サイクルを観察することができます。また、安積親王墓、天空カフェ、正法寺の頂上にある展望台からも遠くに茶畑を見ることができます。

アクセス：畑を間近で見るには、「中和束」バス停から徒歩約８分。和束町観光案内所には車と自転車用の駐車場があります。